

# エチオピアとタンザニアにおけるコーヒーの生産・加工・流通の現状と課題-貿易のための援助と対日輸出への貢献-

平成 22 年度農林水産省補助事業「途上国支援のための基礎的情報整備事業(調査研究事業)」  
高収益農業研究報告会開催のご案内

アフリカのコーヒー豆輸出は農業輸出額の 6%を占め、ココアに次ぐ重要な輸出品目である。しかし、コーヒーは国際相場が発達しており、生産者価格が先物価格に連動するため、その乱高下が激しく一定の生産者利益を安定的に得ることが難しい。さらに、南米やアジアでの生産が拡大する中で、アフリカでは樹木更新や技術革新が遅れており、国際的に取り残されつつある状況にある。



日本では「モカ」、「ブルーマウンテン」、「キリマンジャロ」がコーヒーの三大銘柄と言われており、日本は「モカ」の生産国であるエチオピアと「キリマンジャロ」の生産国であるタンザニアの最大のコーヒー輸出相手国の一つである。しかし、エチオピアではコーヒー豆から残留農薬が検出され、日本向け輸出货量が激減しただけでなく、流通制度がオークションから商品取引所へと変更されたことによる混乱もまだ解決されていない。また、タンザニアでは近年キリマンジャロ州の生産量が著しく減少しており、日本では最高品質のキリマンジャロコーヒーが手に入りにくくなっている。そこで本報告会では、現地調査の結果をもとに、エチオピアとタンザニアにおけるコーヒーの生産から流通までの現状と課題をご報告致します。両国の生産者の生計向上と貿易拡大、さらに対日輸出へと貢献するためには、どのような援助策が考えられるのかも合わせてご報告致します。

本報告会前(13:30~15:15)には「モザンビークとタンザニアにおけるキャッサバの生産・加工・消費の現状と課題-効果的な支援策とは-」を合わせて開催致します。ご参加ご希望の方は Fax、Email でお申し込みいただけますようお願い致します。定員 50 名。参加無料。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 報告内容:

- 1) 農林水産省担当官より事業趣旨説明
- 2) 世界のコーヒー需給と国際価格
- 3) エチオピアにおけるコーヒーの生産・加工・流通の現状、課題と援助策
- 4) タンザニアにおけるコーヒーの生産・加工・流通の現状、課題と援助策
- 5) 近畿大学池上教授(タンザニア農業専門家)より補足説明
- 6) 質疑応答

## お問い合わせ先:

プロマーコンサルティング 吉田里絵/川江心一

TEL 03-6222-0003 FAX 03-3206-0004

[info@promarconsulting.com](mailto:info@promarconsulting.com)

開催日時: 2011年3月18日(金) 15:30~17:15  
開催場所: 千代田区大手町 1-1-2  
りそな・マルハビル 18階  
TKP 大手町カンファレンスセンター



申し込み用紙

エチオピアとタンザニアにおけるコーヒーの生産・加工・流通の現状と課題  
－貿易のための援助と対日輸出への貢献－

平成 22 年度農林水産省補助事業「途上国支援のための基礎的情報整備事業(調査研究事業)」  
高収益農業研究報告会参加申し込み

2011 年 3 月 18 日 (金) 15 : 30～17 : 15

TKP 大手町カンファレンスセンター

申込日	2011 年 月 日
参加希望 報告会	両方またはどちらかに丸印 1. 自給的作物研究報告会 (キャッサバ) 13:30～15:15 2. 高収益農業研究報告会 (コーヒー) 15:30～17:15
会社名	
部署・役職	
お名前	
TEL	( ) —
FAX	( ) —
Email	

FAX 送付先 : 03-3206-0004 プロマーコンサルティング 吉田/  
川江宛

Email 送付先 : info@promarconsulting.com